

各区PTA連絡会研修会開かれる

西区

「学校は、何をするとどうなるか」

講師：増村隆夫氏(西原中学校校長)



講師：増村隆夫氏

平成27年度熊本市西区PTA連絡会研修会では、西原中学校の増村隆夫校長先生をお招きし、「学校は、何をするとどうなるか」というテーマで講演をしていただきました。

講演では、まず「学校に期待されること」という内容で、人は環境の中で育つものであるというところで、「割れ窓理論」を紹介され、子どもたちを取り巻く環境を整えることが大切だという話がありました。また、目標を意識した体験を通して子どもたちの思考・態度が形成されること、それを意図的に設定する場が学校であるということも話されました。

次に、いじめの対応については、未然防止、早期発見が大切で、学校においては、「報告・連絡・相談・記録と最後の確認」が、とても大切であるということでした。問題行動に対しての対応では、「本人・保護者・教職員」が少しずつ譲歩し、みんなで頑張っていくことが大切だということでした。また、生活の中で実際に問題行動を目撃した時には、無理に止めようとするのではなく、誰かに「知らせる行動」を起こしてほしい、それが問題の解決に結びつくことがあると訴えられました。

日時：平成27年10月17日(土)  
場所：熊本市西部公民館

東区

「やる気！元気！を引き出す方法」

講師：田中靖久氏(東海大学経営学部経営学標準教授)



講師：田中靖久氏

講師に、東海大学経営学部経営学標準教授の田中靖久先生をお招きし、「やる気！元気！を引き出す方法」という演題で講演いただきました。講演では、子どもの発達を心理学的側面から捉え、次の5項目について話をされました。

1 身体構成要素ごとに、個体差も含め成長する重要な時期がある。  
2 運動トレーニングでは、二つの可能性「変わりうる」「変えうる」時期がある。

3 指導場面では「成績志向的雰囲気」と「課題志向的雰囲気」の2つとらえ方がある。指導者が他人より上手であることや勝つことを重視する「成績志向」をもつ場合、子どもは「運動無力感」をもつことが多くなり、マイナスの影響が顕著である。一方、指導者が努力や過程を重視する「課題志向」をもつ場合は、勝ち負けや上手下手は関係なく、努力することが高く評価されるため、マイナスの影響はほとんどない。すなわちジュニア期では、「運動有能感」を高めることが大切であり、「成績志向」は高校生期から十分であると考えられる。指導者の考えで子どもは変わるのだと考えさせられました。

日時：平成28年1月23日(土)  
場所：熊本市青年会館大ホール

4 「内発的動機づけ」とは、「やる気・意欲・興味・動機づけ」が内部要因によってなされることを言い、「外発的動機づけ」とは外部要因によってなされることである。運動を指導する場合は、「内発的動機づけ」を重視すべきである。これには、  
① 体を動かすことで行動欲求の満足  
② できるよくなることで達成感  
③ 仲間やコーチに認めってもらうことで認知の喜び  
④ 勝つことで勝利の満足感  
⑤ 仲間やコーチと協力することで一体感の喜び  
⑥ 自分自身に勝つことで努力が実る喜び、などがある。

このようなことを取り入れ、日頃から子どもたちと一緒に楽しみたいと思われました。  
5 気になるメンタルトレーニングには、音楽活用・呼吸法・上を向く・プラス思考・あいさつ・会話等様々な方法がある。最後には、実際に集中力を鍛えるグリッドエクササイズを行いました。今回の東区の講演で、また新たな気づきを得ることができました。(東町小学校 田上哲也)

南区

「笑育」心笑顔の種を育てよう

講師：上田博司氏



銭太鼓の子どもたち

10月3日午後、天明ホールにて平成27年度南区PTA連絡会研修会が開催されました。オープニングアトラクションの「銭太鼓」は、和太鼓の力強い音がホール全体に響き渡り、若さと活気に満ち溢れたすばらしい演奏でした。

全体会では、上田博司氏をお招きし、「落語に学ぶユーモア生活」「落語に学ぶユーモア生活」の「福」作用」をテーマに、笑いとユーモアを交えながら楽しく講演していただきました。

中央区

「新規挑戦」新たな気づきで高め合おう

講師：桑崎剛氏(内閣府ネット環境整備普及啓発検討会議委員長)



全体会で講演される桑崎剛氏

全体会では、桑崎剛氏をお招きし、「スマホとSNSの時代で子どものネット利用にどう対応するか？」と題して講演をしていただきました。子どもをとりまくネット環境、家庭内での大人も含めたネット環境、ネットのかかわり方、ネットを介したトラブルなど、実際にあった事例を挙げながらの講演でした。わかりやすい内容で、時折笑いを交えながら、あつという間の90分でした。

その後、3つの分科会に分かれ、各分科会で活躍されている方々の講演がありました。

第1分科会  
「尊敬されるリーダーになるためには」  
株式会社エスケーホーム  
代表取締役社長 瀬口力氏  
第2分科会  
「わかりやすい防災」東日本大震災から学ぶ  
歌う防災士 柳原志保氏  
第3分科会  
「やる気を引き出す魔法の言葉」ベック  
ブトックを活用し、毎日の生活を充実させよう  
熊本健康・体力づくりセンター  
健康科学トレーナー 高野聡氏  
どの講演も「おもしろかった」「ためになった」との声が多く聞かれ、有意義な研究大会となりました。今後の皆様の「気づき」につながるよう期待します。

※全体会講師桑崎剛氏は、去る2月2日に御逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(一 新小学校 紫垣清文)

北区

「ポストマンライブ」北区version

講師：樋口了一氏(シンガーソングライター)



講師：樋口了一氏(写真・左)

今年度の北区研修会では「思い」をテーマに熊本県出身のシンガーソングライター・樋口了一氏を講師にお招きし、ポストマンライブを行いました。樋口氏は現在、パーキンソン病と向き合いながら、24時間テレビで紹介された「手紙」親愛なる子供たちへ」という曲を必要とする人が必ずいると信じ、「僕はポストマンとなり必要とされる人のもとへ手紙を届けたい」とポストマンライブを各地で行われています。

今回の研修では樋口氏が人との出会いにより歌手という夢を諦めずやってこられた経緯や、研修の中で紹介された曲(歌詞)に込められた思いを熱く語られました。どの曲も深いメッセージが込められて、特に病床に就く親を見つめる反抗期のことにも対しての、「あなたが私を愛していること、私があなたが愛していること」をあなたに知っています。だから私が死んでも後悔しないよ」という親の無償の愛の言葉は心を打たれ、聞いていた保護者の中には涙する姿が多くみられました。曲を通して、飾らない親の本気の言葉、人間から人間へのメッセージの大切さを学ばせていただく感動の講演でした。(清水中学校 邊牟木尚美)

日時：平成27年10月3日(土)  
場所：天明ホール/天明運動施設体育館

分科会①  
「子育てを本当に楽しむには？」  
講師：岡崎光洋氏  
(くまもと心理カウンセリングセンター代表 臨床心理士)  
「対人関係力」の重要性を軸に、現代の子どもの状況や子育てに大切なポイントを分かりやすく、楽しくお話していただきました。

分科会②  
「子育ては己育て」  
講師：野田幸孝氏  
(元熊本市小学校校長)  
現在の教育問題、ゲームやインターネットに潜む危険、いじめ問題など、子育てでぶつかってしまう様々な問題についてお話があり、「日常的に比べられて育つと、子どもはつらい」「生きているだけで幸せよ」と思える人間観が大切」といったアドバイスをいただきました。

全体会  
「落語に学ぶユーモア生活」  
講師：上田博司氏  
(熊本県子ども会連合会事務局長)  
全体会では、上田博司氏をお招きし、「落語に学ぶユーモア生活」の「福」作用」をテーマに、笑いとユーモアを交えながら楽しく講演していただきました。

今回の研修会では、笑いの大切さや子育てに笑いをもたらす効果について学ぶことができ、大変有意義な時間となりました。これから、私も笑いの種をたくさん育て、いつも笑顔でいっぱい家庭を目指そうと思います。(中緑小学校 海崎和美)